

スロベニアからのお客様

イヴォ・ヴァイグル欧州議会議員が視察

イヴォ・ヴァイグル欧州議員（元スロベニア国民議会外交委員長）が、2月16日、国の※オピニオンリーダー招待事業で山武市を訪れ、椎名市長、行木議長らと会談しました。

氏は、駐オーストリア大使や駐独大使、スロベニアの外務大臣も務め、このたびは、人々の暮らしや生活の実情は、大都市ではなく地方でこそ知ることができると云うことで本市にお越しになりました。

氏は、市の概要や財政状況などの説明を受けた後、いちご園やオライはすぬまを視察するとともに、よもぎかんでは太巻き寿司に挑戦するなど、時間のゆるす限り本市の郷土文化に触れました。

※世論形成に大きな影響力のある有力者を招待し、我が国の現状等の正しい理解促進、また、外交政策遂行を円滑にすることを目的とした事業



いちご狩りを楽しむヴァイグル欧州議会議員と椎名市長



小川先生

気合い十分「強くなるぞ!!!」

どうしたら強くなれるの

体力づくり教室

2月24日、むつみのおか幼稚園で、体力づくり教室が行われました。

「強くなるにはどうしたらいいの」と園児に聞かれたのをきっかけに、身体を動かす事が好きになってほしいと考えこの教室を計画したそうです。

先生は、「さんぶの森 元気館」インストラクターの小川貢弘さんで、キックボクシングや空手などの格闘技の動作が基本になっているエアロビクス「ボディコンバット」をわかりやすく園児に指導をしてくださいました。

参加した年長児37名は、時間のたつのも忘れ真剣な眼差しで挑戦していました。最後に園児からは「おもしろくて楽しかった。強くなれそう」との感想がありました。

地域に生きる伝統芸能

五所神社の神楽の奉納

2月21日に五所神社（蓮沼）において、伝統文化である神楽の奉納が十二面神楽保存会により奉納されました。

歴史は古く、江戸時代（1746年）佐倉藩藩主 堀田相模守正亮（さくらはんしゅほったさがみのかみまさすけ）が旧領土に帰還されたことを記念して、五所神社に米40俵を奉納しました。この返礼として当時の領主と氏子により神前で神楽が奉納されたことが始まりとされます。

当日は、周辺の地域からたくさんの観客が訪れ、地域に残る芸能に満喫していました。



「恵比寿大黒大神の舞」